

# 革新、独創、発展性に挑む 研究者を支援

## 第2回 エヌエフ基金 研究開発奨励賞 募集

募集期間：2013年6月10日～9月20日

エヌエフ基金「研究開発奨励賞」は、革新性と独創性に富む、優れた研究開発に携わる研究者の研究意欲を高め、研究開発のさらなる発展を支援することを目的としています。

2013年度の募集分野は、先端計測と環境・エネルギーです。次世代を担う研究者の応募に期待しています。

### 募集要項

#### (1) 募集の対象となる研究開発分野

「先端計測」および「環境・エネルギー」

#### (2) 選考基準

- ・研究開発の着眼点と概要
- ・革新性
- ・独創性
- ・科学や技術の進歩に役立つ発展性
- ・使命感・考え方も評価の対象
- ・研究開発途上であってもよい

#### (3) 応募資格

2013年12月末時点で満35才以下の方

#### (4) 表彰内容

##### ■ 研究開発奨励賞

10名——— 表彰状・記念品・副賞 10万円

応募申請書および参考資料により、10名を書類選考し、表彰状・記念品・副賞(10万円)を授与。

奨励賞受賞者は、2013年11月28日(木)午後開催予定の発表会にて、研究発表を行う。

##### ■ 研究開発奨励賞優秀賞

2名——— 表彰状・記念品・副賞 50万円

上記受賞者の中から研究発表会において優秀と認められた2名に、表彰状・記念品・副賞(奨励賞の副賞込みで50万円)を授与。

#### (5) 日程

- ・募集期間——— 2013年6月10日(月)～9月20日(金)<必着>
- ・研究開発奨励賞発表——— 2013年10月下旬
- ・研究発表会・研究開発奨励賞表彰式—— 2013年11月28日(木)

※研究開発奨励賞受賞者は研究発表会に出席していただけます。

#### (6) 応募手続

##### ● 応募書類

- ①当財団所定の書式「2013年度エヌエフ基金 研究開発奨励賞応募申請書」(和文、ワード形式) ※エヌエフ基金ホームページよりダウンロード
- ②1~3件の参考資料  
論文集等または学会等での既発表資料(和文もしくは英文)  
※提出書類は返却しません。  
また、発表会の資料として公開することがありますので、ご了承ください。

##### ● 応募方法 Eメールまたは郵送にて提出

##### ● 提出期限 2013年9月20日(金) 必着

##### ● 提出先 一般財団法人 エヌエフ基金「研究開発奨励賞」募集係 宛

##### ■ Eメールの場合：award@nf-foundation.or.jp

- ・応募申請書には写真が必要です。  
申請書に画像データを取り込んでください。
- ・件名を「研究開発奨励賞応募」で送信してください。

##### ■ 郵送の場合：〒223-0052 横浜市港北区綱島東 6-3-20 株式会社エヌエフ回路設計ブロック内

#### (7) 選考委員会 (五十音順、敬称略)

- 石田 政義 (筑波大学 教授)
- 井深 丹 (タマティーエルオー株式会社 代表取締役会長)
- 大崎 博之 (東京大学 教授)
- 小林 彬 (東京工業大学 名誉教授)
- 辻 毅一郎 (大阪大学 名誉教授)
- 藤崎 和子 (公益財団法人東亜留學生育友会 代表理事)
- 堀岡 一彦 (東京工業大学 教授)
- 本多 敏 (慶応義塾大学 教授)

### 研究開発奨励賞に関するお問い合わせ先

一般財団法人 エヌエフ基金「研究開発奨励賞」募集係

**E-mail** award@nf-foundation.or.jp

**URL** http://www.nf-foundation.or.jp/

Eメールまたは Web サイトのフォームにて  
お問い合わせください。

# 一般財団法人 エヌエフ基金について

## ◆ 目的

科学技術の進歩にとり有益と見込まれる研究活動を広く支援、顕彰し、また、社会の将来を担うべき有為の人材を支援、育成することを通じて、科学技術の振興を図り、より健全な社会と人類のいつそうの幸福の創造に寄与することを目的として、事業を行う。

## ◆ 設立趣意

現代においては、環境問題、エネルギー問題等をはじめとして、人類共通の或いは地球規模の問題が数多く出現するとともに、これらの問題の解決に当たってはグローバルな取り組みが不可欠との認識が漸く広く共有されるに及んでいる。もとより、これらの問題解決には科学技術に限らず、政治的、経済的、或いは文化的な観点等からのアプローチも求められるところではあるが、その基礎をなすものとして、科学技術に求められる役割は益々重要性を高めるに至っていると考えられる。

21世紀を迎え、研究開発活動は逐次高度化を遂げているところではあるが、このような状況をも踏まえれば、研究開発活動を一段と広く、更に深く促進し、また、これら活動全般を支える知的基盤を人類共通の資産として整備していくことが喫緊の課題と考えられる。また、研究開発活動は予算面、時間面、人的能力面等の制約のもと、ともすれば短期的な成果に傾きがちなる場合も見られるが、新しい知を持続的に生み出さうような重厚な知的体系を形成していくことこそが重要であり、そのためには、基礎的、普遍的な知的探求を、長期的視点のもとで推進、支援することもまた極めて重要と考えられる。

このような研究を担うべき人材面に関しては、国内外において情熱をもって知的創造に邁進する意欲的な研究者の育成と活躍の促進が必要不可欠であり、さらに遡って高等教育の段階においても、才能に恵まれ意欲に満ち溢れた人材の発掘、育成、支援が益々その重要性を増していると考えられる。

以上の基本的な認識に基づいて、当基金は、科学技術の進歩にとって有益と見込まれる研究活動を広く支援、顕彰し、併せて、社会の将来を担うべき有為の人材を育成、支援することを目指して、頭書基金を設立することとした次第である。

## ◆ 事業

目的を達成するため、国内外において次の事業を行う。

- ① 科学技術研究、研究交流や学会活動に対する支援、助成
- ② 科学技術に関し顕著な業績を上げた個人又は団体の顕彰
- ③ 科学技術研究に関する調査、情報の収集及び提供
- ④ 学生等への奨学金の給付
- ⑤ 前各号に掲げるもののほか、本財団の目的を達成するために必要な事業

## ■ 法人概要

- 名称 一般財団法人 エヌエフ基金  
NF Foundation
- 所在地 (主たる事務所) 〒223-0052  
横浜市港北区綱島東6-3-20  
株式会社エヌエフ回路設計ブロック内
- 設立年月日 2012年3月28日
- 代表理事 北森 俊行

## 第1回(2012年度)研究開発奨励賞

昨年度の募集分野は、本年度同様「先端計測」と「環境・エネルギー」で、以下の10件の研究テーマが研究開発奨励賞を受賞しました。

### ■ 先端計測

- 超音波放射力による高速可変焦点レンズとマイクロ光デバイスへの応用
- 機能性遷移金属酸化物薄膜の初期成長過程の原子スケール観察
- 電気的情報を可視化する新しいMRI計測技術
- 次世代半導体集積回路のための超高分解能オンチップジッタ計測技術の開発
- プラスチック光ファイバを用いた「記憶」を有する分布型歪・温度センサの開発
- スピン波の新規高感度測定手法の開発

### ■ 環境・エネルギー

- 磁界共鳴による走行中電気自動車へのワイヤレス給電に関する研究
- 次世代光アクセスネットワークの省電力制御技術に関する研究開発
- マルチスケール電力システムのモニタリング・診断・制御技術
- 高安全を担保する「イオン液体」を電解質に用いたリチウム二次電池の研究・開発

